

2017  
2月

# 北房通信



平成29年2月1日発行 北房振興局 TEL0866-52-2111

北房振興局からのお知らせや管内のできごとなどを不定期で発信します。

## 「北房まちづくり会社」設立の動き ～地域全体の活性化を目指して～

ここ数年、北房では食事処や喫茶店などの開業、さらにインターナショナルシェアハウスができるなど、新たな動きが増えてきています。また、コスモス広場ではイルミネーションが灯されるといった有志の取り組みもあり、さまざまな事業や活動が生まれてきています。

このような中、北房に「まちづくり会社」の設立に向けた動きがあることをご存知でしょうか。まちづくり会社とは、地域の団体や企業、個人が資金を出し合って作る会社で、民間主導で地域振興の取り組みを進めていくものです。

この動きに先立って、皆部商店街では、空き店舗や空き家を活用した「昭和ロマンの街並み

再生」に向けた事業を進めています。国の支援制度を活用して調査事業やモニターツアーの実施などに取り組んでいるところですが、「北房まちづくり会社」は、こうした商店街を中心とした取り組みをその他の地域にも広げ、北房全体の活性化を進めようとしています。

国や市の支援を受けながらまちづくり事業を推進していく計画で、現在は2月末の会社設立を目指して準備を進めているところ。団体や個人からの出資（1株1万円以上）を呼びかけています。

北房まちづくり会社について  
「もっと知りたい」「出資したい」という方は  
⇒皆部商店会（副会長：加戸）  
TEL090-7999-9096  
※出資募集期間：平成29年2月2日～2月15日

## 空き家を売りたい！貸したい！ という人は「空き家情報バンク」に登録を

真庭市では、地域に眠る空き家を有効に活用し、「真庭に移住したい」という人へ住まいの情報を提供する『空き家情報バンク制度』を設けています。使っていない家を売りたい、または貸したいという方は、ぜひ「真庭市空き家情報バンク」に登録してください。

まずは申請書の  
提出を！



空き家情報バンクについてお問い合わせは  
真庭市交流定住センター TEL0867-44-1031  
もしくは  
北房振興局地域振興課 TEL0866-52-2111

### 空き家情報登録から公開までの流れ

#### ①申請書を提出

「真庭市空き家情報バンク登録申請書」を真庭市に提出  
※申請書は北房振興局にあります。  
市ホームページからもダウンロードできます。

#### ②マッチング

真庭市交流定住センターが不動産業者に情報を提供してマッチング  
※物件の下見会を実施して取扱業者を決定。  
※物件の状態によっては決定しない場合もあります。

#### ③情報を公開

ホームページ上に空き家情報を公開  
▶空き家情報を見て買いたい、借りたいという人が現れれば、不動産業者を介して取り引きに入ります。

# 50年目のつどいを盛大に開催！ ～第50回北房女性のつどい～

1月29日、「第50回北房女性のつどい」が北房文化センターで開催されました。行事を主催する北房女性の会は昭和41年に誕生。50年もの間、男女共同参画や青少年の健全育成、子育て支援、地域福祉、環境問題などの活動に取り組んできました。現在は11団体で構成されており、さまざまな活動を行っています。

50周年の記念の大会となった今回の女性のつどいでは、間久保靖子会長のあいさつで開会



歴代会長には一人一人花束が手渡されました。

した後、長年の活動を支えた歴代の会長に花束が贈られました。また、構成11団体の紹介とそれぞれの活動報告があり、最後に、自立・協力・支え合いを実践し、住みよい豊かな地域づくりを目指すとうたった大会宣言で締めくくりました。

式典後には記念公演が行われ、倉敷市の備中真備太鼓保存会による迫力ある演奏が披露され盛大な記念大会となりました。



備中真備太鼓保存会の皆さん。途中で狂言風の立ち回りも入り、大いに会場を盛り上げました。



# 北房出身の瀧上隆夫先生が講演 ～北房新春講演会～

1月29日、毎年恒例の「北房新春講演会」が北房文化センターで開催されました。北房出身で、チクバ外科・胃腸科・肛門科病院の院長である瀧上隆夫さんをお招きし、『お尻から血が出たら～私が観てきた医療界の話を含めて～』と題してお話いただきました。約350人が来場し、ユーモアを交えたお話に耳を傾けました。

先生は、肛門やその周囲の疾患、内視鏡検査の症例などについて、これまでの豊富な経験を振り返りながら説明。特に、内視鏡検査の症例は累計9万件を超え、これまで内視鏡で検査をした長さを合計すると、その距離は倉敷にある

講演をする瀧上隆夫先生。専門的な知識からユーモアあふれるエピソードまで幅広いお話をしていただきました。

病院と北房の間を往復するよりもずっと長いほど。また、ふるさとの北房での思い出や趣味の囲碁・将棋のお話などにもふれ、軽妙な語り口で会場が笑いに包まれる場面もありました。

講演会が終わった後も、「先生にお花を」「先生にひと言ごあいさつを」と、お世話になったという皆さんの見送りが後を絶ちませんでした。

